

緩和ケア通信

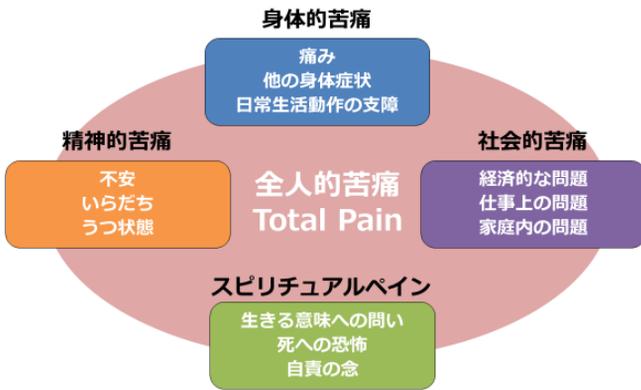
2023年10月6日 緩和ケアセンター発行 Vol.8

緩和ケアセンターHP
QRコード



『つらさと苦痛の包括的アセスメントについて』 をご紹介します(緩和ケアマニュアルp.17～20)

- ✓ 緩和ケアは身体的苦痛の軽減のみでなく、患者と家族の精神的苦痛や社会的苦痛、スピリチュアルペインといった**全人的苦痛**に対処しQOLを改善することを目的としている。
- ✓ 苦痛について**さまざまな側面から検討し、評価するアプローチが包括的アセスメント**である。
- ✓ 包括的アセスメントは、患者だけでなく**家族も対象**となる。



包括的アセスメントの流れと評価項目

病歴

現病歴

- ・診断までの経過
- ・現在の病期,病状
- ・治療経過と使用薬剤,効果と副作用
- ・現在の薬剤
- ・現在の病状認識

既往歴

- ・基礎疾患以外の病歴
- ・薬剤アレルギー
- ・喫煙歴,飲酒歴など

身体状況・医学的評価

身体所見,神経学的所見
検査(臨床検査,画像検査)

ADL/IADL
予後予測

苦痛のアセスメント

全人的苦痛の存在を念頭に置いて系統的に考えることが大切

- ・身体的苦痛
- ・精神的苦痛
- ・社会的苦痛
- ・スピリチュアルペイン



意向・目標

患者・家族の意向・価値観を探り,目標を共有する

- ・現在の気がかり 質問例:「今,一番気がかりなことはなんですか?」
- ・大切にしたいこと 質問例:「一番大切にしていることはどのようなことですか?」

家族の評価

家族構成
それぞれの家族の役割・機能

中心的な役割(キーパーソン)
家族のつらさを評価

POINT

多くの患者は体の症状以外の苦痛を感じていても、**自発的に訴えることは少ない**とされるため医療者が積極的に苦痛の有無について気遣う必要がある



色々な苦痛を感じていても患者さんは言葉に出して表現できないこともあるんだよ!

だから医療従事者は、苦痛について問いかけたり気遣うことが大事なんだね!



病状の変化に応じて苦痛も変化していくため、多職種の見点で繰り返し評価する

お知らせ

第31回 三重大学緩和ケアセミナー 開催します

詳細・事前申込みはこちらのQRコードから ⇒⇒⇒



日時: 2023年10月20日(金) 18:30~19:45【ハイブリット形式】

内容: 「元気な頃から人生会議~本人と家族, 人生会議の進め方」

人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)に関するセミナーです

